

愛寿会 たより

6月号
第144号
平成23年
6月1日発行



5月16日(月)に仁生園「やすらぎ」と第二仁生園の皆さんとで蕨(ふき)刈りをしました。仁生園入山好子看護師さんの畑で、まわりの新緑がまたすばらしかったです。

五月二十六日 第一八七回理事会・第二七回評議員会開催 平成二十二年度事業報告・決算報告が認定されました

去る五月二十六日(木)午後一時から評議員会、そして、引き続き理事会が開催されました。主題の平成二十二年度愛寿会事業報告及び一般会計決算報告、それに、平成二十二年度第二仁生園作業所建築特別会計決算報告が、評議員会・理事会とも全会一致で認定されました。

なお、認定に先立ち入江薫、坂本ちづ子両監査委員から、「業務及び会計とも適正に執行されたものと認める」旨の報告があり、了とされました。

事業報告

小尾章臣愛寿会常務理事・仁生園園長、白倉直子愛寿会理事・第二仁生園園長を始め各副園長から、今年実施した次の主要十項目を中心に詳細な報告がありました承されました。

一・平成二十二年七月二十二日の理事会・評議員会において、次期理事・評議員及び監事を選任しました。任期は平成二十二年七月二十五日から平成二十四年七月二十四日までの二年間です。

二・平成二十二年四月一日付で目標額を六億円とする「愛寿会建設積立金規程」を制定し、当初予算に一億円を計上、更に、十二月補正予算に六千二百万円を追加、合わせて二十二年度に一億六千二百万円を積み立てました。

三・平成二十二年四月一日付けで、目標額を五千万円とする「愛寿会人件費積立金規程」を制定し、当初予算に二千七百万円を計上、更に、十二月補正予算に二千三百万円を追加、合わせて二十二年度に五千万円を積み立てました。

四・平成二十二年七月に給食検討委員会を立ち上げ、一年を通し、利用者にとっての望ましい給食の在り方について検討を重ねました。

給食業務の委託先である日清医療食品とも相当回数協議を重ね、改善を図ることができました。

なお、この検討業務は平成二十三年度も継続することになっています。

五・国による介護職員処遇改善費をベースにした、愛寿会職員処遇改善費については、平成二十二年度の例にない全職員を対象に二千万円を支給しました。

なお、従来の「決算手当」については、それまで七百万円台の支給額であったものを一千万円に倍増し、職員の労に報いることとしました。

料金後納郵便

申子小包

差出人(差出送代行)

7-4

佐川物流サービス(株)

返送先: 千140-0012

品川区勝島 1-1-1

このお荷物には依頼人様からお預かりした荷物を当社が差出人となって発送代行しています。

六・第二仁生園の作業所が完成しました。これに合わせコンクリート舗装による緊急避難路を整備することができました。

七・愛寿会後援会の支援により、仁生園の全テレビ（二十四台）を地上デジタル方式に一新することができました。（投資額二百八十万円）

この機会に全体として大型化を図ると共に、各フロアに録画再生装置を設置しました。

八・平成二十二年七月二十二日の理事会・評議員会において、「育児・介護休業等に関する規則」を制定、育児休業、介護休業、看護休暇、介護休暇等がとりやすい職場づくりを目指すことになりました。

九・平成二十二年十二月十四日の理事会・評議員会で、「次世代育成支援行動計画」を定め、子育てのしやすい職場づくりを目指すことになりました。

十・平成二十二年十二月十四日の理事会・評議員会で就業規則の一部を改正し、本人の希望があり、かつ特別の非違がない限り六十五歳まで勤務することができるとしました。

一般会計の決算

清水元義法人事務局長から、八億五千八百余万円の事業活動収入の内訳、七億六千余万円の事業活動支出の内訳を中心に説明があり、全会一致認定されました。

決算報告の要点は以下のとおりです。

一・介護保険収入と自立支援給付収入の合計額は七億六千余万円で前年度とほぼ同額であ

（次頁上段に続く）

五月五日（木）仁生園で野点（のだて）

利用者の皆様本日に楽しそうでした

五月五日は「子どもの日」、「端午の節句」でもありました。

この日恒例の野点を行いました。

小荒間は標高千メートル：ですから桜も花ふぶきといったところがなかなかの風情でした。



女性職員の多くは和服に着替えました。若き日お茶に親しまれたという方もかたといらっしゃって話に華が咲きました。

仁生園の五月の誕生会は十日でした

ご家族も大勢参加して下さいました

季節の料理に皆様上機嫌でした

仁生園も第二仁生園も毎月誕生会を実施しています。その日にはなるべく季節の料理とかいわれのある料理とかをお出しし、利用者の皆様の興（きょう）を引き出すよう努めています。十日は春の具を使った太巻きずし、お赤飯、土佐風のかつおのたたき等々でした。誕生会のごときにご家族の皆様がご面会を兼ねて一緒に食事をしていただければありがたいと思っています。

六月は

仁生園が

七日、第

二仁生園

が十五日

です。ぜ

ひお出で

下さいま

すようお

待ち申し

上げま



ご家族の皆様夏祭りにぜひお出かけ下さい

仁生園は八月六日（土）午後六時から

第二は七月二十七日（水）の午後六時

からです

利用者の皆様がとても楽しみにしている

夏祭りです。ご家族の皆様のお出かけを心からお待ちしております。（写真は昨年第二仁生園での合唱の情景です。）



ったこと。

二・人件費は四億五千四百万円と前年より五百余万円増えていること。その主な要因は、職員の処遇改善のための増であること。

三・介護保険収入と自立支援給付収入の合計額に対する人件費率は五十八パーセントと前年と同率で健全性が確保されていること。

四・平成二十二年度への現金及び預金の繰越額は二億四千六百余万円で資金的に問題はなく、この点からみても健全性が確保されていると認められること。

第二仁生園作業所建築特別会計決算

清水元義法人事務局長から大要次の説明があり、全会一致認定されました。

一・平成二十三年三月に百二十一平方メートルの作業所が完成したこと。これに並行して第二仁生園本体から町道に至るコンクリート避難路等関連工事が完成したこと。

二・総事業費は二千五百余万円です。予算額に対する執行率は百%であったこと。

三・決算の財源内訳は、JKA補助金一千四百万円弱、愛寿会理事武田和久氏からの寄付金一千万円、自己資金百余万円であること。

愛寿会後援会からのお願い

社会福祉法人愛寿会は、高齢者の皆様のための施設「仁生園」と、心身に障がいのある皆様のための施設「第二仁生園」を運営しています。

愛寿会後援会は、両施設のサービス内容の更なる充実を図るためのバックアップ組織です。平成19年度に発足しましたから今年で5年目になります。

平成23年度は340余万円の予算で次の事業を予定しています。

- 1 仁生園及び第二仁生園の夏祭りの開催
- 2 職員が介護福祉士の資格を取得するための事前講習会3回の開催
- 3 入所者へのサービス向上、介護職員の労力軽減につながる介護用新製品を購入、試用し、安定的に使用可能と判断された場合に一般化する…その試行事業を実施する。
- 4 桜の季節やクリスマス等にプロの音楽家をお招きし童謡とか往年の流行歌を楽しむ会2回の開催
- 6 職員による自主研修をサポートするため、研究集録刊行事業に助成する。

これらの事業をスムーズに展開することができますよう、継続お振込み、或いは新規にご加入下さいますようお願い申し上げます。

新規加入の方

- 終身会員 20万円以上
- 個人会員（年額） 2,000円以上
- 法人又は団体会員（年額） 10,000円以上

継続の方

- 個人会員（年額） 2,000円以上
- 法人又は団体会員（年額） 10,000円以上

会費の納入先

山梨中央銀行 長坂支店
 口座名 社会福祉法人 愛寿会後援会
 口座番号 普通預金 番号 563608

郵便局
 口座名 社会福祉法人 愛寿会
 口座番号 00210-8 46492

事務局

山梨県北杜市長坂町小荒間1293番地
 社会福祉法人 愛寿会
 電話 0551-32-3340 FAX0551-32-3546